

非弁膜症性心房細動と診断された方へ

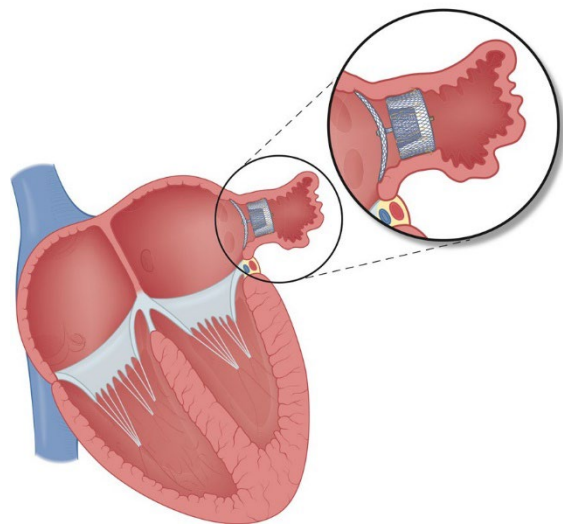
現在、新しい医療機器の治験*に参加いただける方を募集しています。

抗凝固薬（血液をさらさらにする薬）による治療が可能な非弁膜症性心房細動の患者さんを対象とした治験です。

*治験とは、患者さまにご協力していただき、新しい医療機器の有効性と安全性を確認するための試験

非弁膜症性心房細動によって、心臓の拍動が不規則になると、心房（心臓の上にある部屋）の血液の流れが遅くなり、心臓の中で血栓（血液の塊）ができやすくなり、特に、この左心房にある左心耳で、血栓が多く発生します。

この治験では、左心耳閉鎖機器という医療機器を使用し、心臓にある左心耳にふたをすることで、新しい血栓ができることを防ぎ、脳に血栓が移動することで発生する脳卒中の発生を予防します。



ご参加いただける方

非弁膜症性心房細動と診断され、かつ、脳卒中のリスクが高いとされる方
抗凝固薬の長期服用に適している方

※その他にもいくつかの基準があります。診断の結果により、ご参加いただけない場合があります。

ご留意いただきたいこと

この治験は、無作為化といって、すべての患者さまがこの新しい医療機器を使用して治療を受けられるわけではありません。ふたつの治療グループ（医療機器による治療グループとお薬による治療グループ）があり、どちらのグループに割付けられるかは、コンピューターで自動的に決定されます。

この治験に興味・質問がある方は、お気軽に外来担当にお申し出ください。

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科